



絶対やるぞ！

3年部

No.6

令和8年

9月1日 発行



十五夜の歴史に学ぶ

秋の深まりと「薔え」の時間

中学校生活最後の夏休みが明け、いよいよ9月となりました。9月と言えば「敬老の日」「国民の休日」「秋分の日」といった祝日や「秋のお彼岸」「十五夜」といった伝統行事などが盛りだくさんです。今回は「十五夜」の文化と、受験勉強との共通点について考えたいと思います。

「十五夜」の風習は平安時代に中国から伝わったとされています。当時の貴族たちは直接月を見るだけでなく、池の水面に映る月を眺めながら和歌を詠み楽しむ文化がありました。それが、江戸時代に秋の収穫へ感謝する行事へと広がりしました。春に種をまき、夏に育てた作物が「実り」を迎える秋は、受験勉強に励むみなさんにも通じるものがあります。これまで蒔いてきた基礎という「種」は、これから始まる前期期末試験をはじめ、たくさんの試験を通して「大きな実り」へと変わっていくからです。

しかし、作物が実るのに時間が必要のように、勉強の成果が出るまでには必ず「タイムラグ」があります。すぐに結果が出ず焦る時こそ、必要なのは「落ち着いて、じっくりと知識を熟成させる粘り強さ」です。自分を信じ、実り多き秋を目指して日々の学習を重ねていきましょう！

いよいよ始まる前期期末試験に向けて

9月9日(水)から3年生にとっては進路を左右する前期期末試験が始まります。今回の試験は、自分の学習の成果を確認すると同時に、進路実現に向けた大切な過程となります。「夏休みの学習」を信じて、全力で試験に挑みましょう。また、入試本番は一発勝負です。本番を意識して体調管理にも気を配りながら万全の状態で試験を受けられるよう、3学年みんなで意識を高めあっていきましょう。

夏休みを振り返って・・・

夏休みの間に学校内外では様々な大会や行事がありました。また、この夏休みで部活動を引退した生徒も多くいます。「あつい夏の思い出」と「頑張りの瞬間」を写真で紹介します。



卓球部



バレー部



吹奏楽部



陸上部



家庭科部



生徒会

学校での部活動や地域のクラブチーム、ボランティア活動など活躍の場所は違いますが中学校生活で頑張ってきたことがそれぞれあると思います。納得のいく結果が出た人もいれば、悔しい思いをした人、これから最後の大会や活動に向けて頑張る人。それぞれだと思いますが、大切なのはその活動で「何を学んだのか」だと思います。例えば、挨拶や返事、整理整頓といった「当たり前のことを当たり前にする姿勢」。これは、これからの社会を生きていくうえで人との「信頼関係」を築いていくうえで大切な力です。また、厳しい練習や押しつぶされそうな緊張感を乗り越えてきた「成功体験」は、受験のプレッシャーに負けない強い心となって皆さんを支えてくれるはずです。そして何より、これまで諦めずに「継続してきた経験は」日々の勉強をコツコツ積み重ねる最大の武器になります。

机に向かう時間だけでなくこれまで培ってきたすべての力と自信を味方にして、受験という次の大きな目標に向かって進んでいきましょう。

